

監査結果公表第3号

出資団体監査結果報告について

地方自治法第199条第7項の規定に基づき、出資団体監査を執行したので、同条第9項の規定により、その結果に関する報告を公表する。

令和 8年 2月19日

四日市市監査委員	樋口	孝
同	嶋田	宜浩
同	小林	博次
同	山口	智也

第1 監査の概要

- 1 監査の種類 出資団体監査
- 2 監査の対象
監査対象団体 株式会社ディア四日市
商工農水部商業労政課（出資に関する事務の所管所属）
対象年度 令和6年度
監査対象事項 出納その他の事務
- 3 監査等の実施場所及び監査期間
実施場所 四日市市役所 監査委員室
監査期間 令和8年1月14日

4 監査の主な実施内容

四日市市監査基準に基づき、監査対象への聞き取り調査や過去の監査結果を踏まえて、出納その他の事務の執行に内在するリスクを想定し、リスク発現を防止するための対応策を確認するとともに、出納その他の事務の執行状況について、関係資料の提出を求め、関係職員から説明を聴取したうえで、諸帳簿等の抽出調査を行い、出資団体に対しては、会計経理・財務諸表の表示並びに財産管理等が適正になされているか、また、所管所属に対しては、出資団体の事業運営を十分把握し、連携を図っているかにそれぞれ重点を置いて監査を実施した。

なお、今回の監査は令和6年度の出納その他の事務の執行状況を対象として実施したものであるが、令和7年9月12日の大雨による被害及びその後の処理のため、当該出資団体保管の関係書類の調査及び現地での施設の確認は実施できなかった。そのため、関係職員からの聴取を通じて可能な範囲で監査を行った。

第2 監査対象の概要

- 1 設立年月日 平成5年3月1日（くすの木パークキングの開業は平成9年4月）
- 2 資本金等（令和7年3月末日現在）
 - (1) 発行可能株式総数 36,000株
 - (2) 発行済株式の総数 32,163株
 - (3) 払込資本金 100,000,000円
 - (4) 四日市市の出資 31,091,627円（出資割合 31.09%）
- 3 役員数及び職員数（令和7年11月末日現在）
 - (1) 取締役 14名
代表取締役社長 鈴木 主計
代表取締役副社長 服部 律男
常務取締役 須藤 康夫
その他取締役 11名
 - (2) 監査役 2名
 - (3) 職員 5名

4 事業内容

- (1) 駐車場の経営及び管理運営の受託業務
- (2) 中心市街地活性化に関する調査研究事業及びイベントの企画運営事業
- (3) 商店街活性化を支援するための展示場及び多目的ホールなどコミュニティ施設の運営
- (4) 広告宣伝及び観光案内事業
- (5) 損害保険代理店業
- (6) 前各号に附帯する一切の業務

5 決算の状況

令和6年度と令和5年度を比較した貸借対照表、損益計算書は次の各表のとおりである。

なお、各表は、当法人作成の事業報告及び計算書類から転記したものである。

(1) 貸借対照表

(令和6年度：令和7年3月31日現在)

(令和5年度：令和6年3月31日現在)

科 目	令和6年度	令和5年度	対前年度増減額	増減率
	円	円	円	%
資産の部				
流動資産	77,789,788	90,765,357	△ 12,975,569	△ 14.3
現金及び預金	71,960,862	83,023,681	△ 11,062,819	△ 13.3
営業未収入金	4,417,890	4,987,191	△ 569,301	△ 11.4
貯蔵品	1,401,810	1,303,182	98,628	7.6
未収入金	9,226	163	9,063	5,560.1
前払費用	0	1,451,140	△ 1,451,140	皆減
固定資産	562,984,926	611,018,312	△ 48,033,386	△ 7.9
有形固定資産	549,543,040	598,057,426	△ 48,514,386	△ 8.1
建物	530,862,200	576,709,390	△ 45,847,190	△ 7.9
建物附属設備	16,689,980	19,069,888	△ 2,379,908	△ 12.5
構築物	180,385	208,296	△ 27,911	△ 13.4
機械及び装置	1,155,232	1,265,488	△ 110,256	△ 8.7
工具器具備品	655,243	804,364	△ 149,121	△ 18.5
無形固定資産	11,886	30,886	△ 19,000	△ 61.5
電話加入権	11,886	11,886	0	-
ソフトウェア	0	19,000	△ 19,000	皆減
投資その他の資産	13,430,000	12,930,000	500,000	3.9
出資金	10,000	10,000	0	-
差入保証金	13,420,000	12,920,000	500,000	3.9
資産合計	640,774,714	701,783,669	△ 61,008,955	△ 8.7

負債の部				
流動負債	93,058,186	96,556,230	△ 3,498,044	△ 3.6
1年内返済予定長期借入金	70,000,000	70,000,000	0	-
未払金	3,397,125	7,176,049	△ 3,778,924	△ 52.7
未払法人税等	185,000	185,000	0	0
未払税金	3,174,400	3,231,400	△ 57,000	△ 1.8
未払費用	1,509,398	2,039,791	△ 530,393	△ 26.0
預り金	13,275,330	12,132,658	1,142,672	9.4
賞与引当金	1,516,933	1,791,332	△ 274,399	△ 15.3
固定負債	148,371,823	217,740,431	△ 69,368,608	△ 31.9
長期借入金	145,085,000	215,085,000	△ 70,000,000	△ 32.5
退職給付引当金	3,286,823	2,655,431	631,392	23.8
負債合計	241,430,009	314,296,661	△ 72,866,652	△ 23.2
純資産の部				
株主資本	399,344,705	387,487,008	11,857,697	3.1
資本金	100,000,000	100,000,000	0	-
利益剰余金	299,344,705	287,487,008	11,857,697	4.1
その他利益剰余金	299,344,705	287,487,008	11,857,697	4.1
繰越利益剰余金	299,344,705	287,487,008	11,857,697	4.1
純資産合計	399,344,705	387,487,008	11,857,697	3.1
負債・純資産合計	640,774,714	701,783,669	△ 61,008,955	△ 8.7

(2) 損益計算書

(令和6年度：令和6年4月1日～令和7年3月31日)

(令和5年度：令和5年4月1日～令和6年3月31日)

科 目	令和6年度	令和5年度	対前年度増減額	増減率
	円	円	円	%
営業収益	157,597,444	156,717,013	880,431	0.6
駐車場収入	138,120,379	137,239,948	880,431	0.6
受託事業収入	19,477,065	19,477,065	0	-
営業費用	146,079,125	146,575,441	△ 496,316	△ 0.3
役員報酬	7,200,000	6,450,000	750,000	11.6
給料手当	27,578,501	26,169,055	1,409,446	5.4
賞与	4,556,651	5,713,600	△ 1,156,949	△ 20.2
退職給付費用	631,392	385,298	246,094	63.9
法定福利費	2,905,051	2,851,213	53,838	1.9
福利厚生費	204,269	250,605	△ 46,336	△ 18.5

通勤費	717,099	592,016	125,083	21.1
広告宣伝費	235,148	302,583	△ 67,435	△ 22.3
交際接待費	269,600	294,300	△ 24,700	△ 8.4
会議費	139,239	144,367	△ 5,128	△ 3.6
旅費交通費	2,710	93,258	△ 90,548	△ 97.1
通信費	423,377	425,925	△ 2,548	△ 0.6
消耗品費	1,394,780	1,204,202	190,578	15.8
事務用品費	324,933	352,676	△ 27,743	△ 7.9
修繕費	6,325,967	5,566,359	759,608	13.6
水道光熱費	6,530,533	6,197,214	333,319	5.4
新聞図書費	48,900	58,991	△ 10,091	△ 17.1
諸会費	274,275	243,728	30,547	12.5
支払手数料	2,104,889	5,084,257	△ 2,979,368	△ 58.6
保険料	1,481,640	1,478,670	2,970	0.2
寄付金	50,000	50,000	0	-
業務委託費	18,533,164	17,864,621	668,543	3.7
利子所得税	0	0	0	-
研修費	0	51,000	△ 51,000	皆減
減価償却費	48,533,386	48,611,424	△ 78,038	△ 0.2
賃借料	556,000	556,000	0	-
租税公課	14,296,180	14,755,710	△ 459,530	△ 3.1
諸雑費	761,441	828,369	△ 66,928	△ 8.1
営業利益	11,518,319	10,141,572	1,376,747	13.6
営業外収益	899,378	1,307,626	△ 408,248	△ 31.2
受取利息	60,286	1,101	59,185	5,375.6
雑収入	839,092	1,306,525	△ 467,433	△ 35.8
営業外費用	375,000	375,000	0	-
支払利息	375,000	375,000	0	-
経常利益	12,042,697	11,074,198	968,499	8.7
特別損失	0	1	△ 1	皆減
固定資産除却損	0	1	△ 1	皆減
税引前当期純利益	12,042,697	11,074,197	968,500	8.7
法人税、住民税及び事業税	185,000	185,000	0	-
当期純利益	11,857,697	10,889,197	968,500	8.9

6. 地下駐車場の利用状況

くすの木パーキングの過去5か年における利用状況については下記のとおりである。

年 度	利用車両台数（台）			修正回転率 （時間）
	中央通り	国道1号	計	
令和2年度	256,006	114,179	370,185	9.82
令和3年度	243,269	109,615	352,884	9.06
令和4年度	251,133	120,881	372,014	9.74
令和5年度	246,781	123,126	369,907	10.91
令和6年度	237,951	123,302	361,253	11.32

※収容可能台数 中央通り：306台 国道1号：203台

※修正回転率 駐車スペース1台についての1日あたりの平均駐車時間を示す。

修正回転率＝（年間総駐車時間）÷（年間総収容可能台数）×100

第3 監査の着眼点

1 想定されるリスクからの着眼点

事務事業におけるリスクについて事前調査での聞き取りにより設定した。

●出資団体【株式会社ディア四日市】

- (1) 決算諸表等が適正に作成されないリスク
- (2) 会計経理及び財産管理等が適正に行われないリスク
- (3) 資金運用が適切になされないリスク
- (4) 事業継続性のリスク

●所管部局【商工農水部商業労政課】

- (1) 出資団体にかかる状況把握が適切に行われないリスク

2 3E（経済性、効率性、有効性）・合規性等の視点からの着眼点

事務事業の合規性や正確性のみならず、経済性、効率性、有効性の視点等から設定した。

第4 監査結果

上記の着眼点に基づき監査を行った結果、次のとおり、内在するリスクや事務の一部に是正又は改善を要するものなどが見受けられた。今後の事務執行にあたっては、これらに十分留意するとともに、その措置を講じるよう要望する。

なお、措置を講じたときは、遅滞なく報告されたい。

1 想定されるリスクからの着眼点に着目して行った監査結果

【株式会社ディア四日市】

(1) 決算諸表等が適正に作成されないリスク

- ◆決算諸表等は、法令等に準拠して適正に作成されているか。

リスク発現への予防策・リスクの発現状況

貸借対照表、損益計算書は、財政状態及び経営成績が適正に表示されている。

(2) 会計経理及び財産管理等が適正に行われないリスク

- ◆会計経理及び財産管理等は、諸規程に基づき適正に行われているか。

リスク発現への予防策・リスクの発現状況

会計経理は、団体の経理規程等に基づいて行われていること、また固定資産は増減時に確認、消耗品などの棚卸資産は9月末及び3月末に実地棚卸を実施していることを聞き取りにより確認した。

(3) 資金運用が適切になされないリスク

- ◆資金の運用は適切になされているか。

リスク発現への予防策・リスクの発現状況

利益剰余金が計上されているものの、長期借入金及び施設修繕に対応する必要があることから資金の運用は行っていない。

(4) 事業継続性のリスク

- ◆安定的に事業が継続されているか。

リスク発現への予防策・リスクの発現状況

中小企業基盤整備機構からアドバイザー派遣を受け、高度化資金の返還について協議を行い、令和8年度に全額返済の予定、また市からの借入金においては令和9年度に全額返済予定であった。

なお、事前調査実施日（令和7年11月18日）においては、令和7年9月の大雨による浸水被害により、返還について国や県に相談、調整中とのことであった。

【商工農水部商業労政課】

(1) 出資団体にかかる状況把握が適切に行われないリスク

- ◆出資団体の経営成績及び財政状態を十分に把握し、効率性・経済性が確保されるよう適切な働きかけが行われているか。

リスク発現への予防策・リスクの発現状況

商工農水部長及び都市整備部長が取締役、会計管理者が監査役を務めており、年5回開催される取締役会及び年1回開催（第2回取締役会と同時開催）される出資団体の経営成績及び財政状態の把握が可能である株主総会に出席している。

意見

株主総会や取締役会には、団体の役員を務める商工農水部長なども出席している。出資団体については、経営状況のみならず施設の管理運営状況などについても十分把握し、役員としての職務を果たすこと。

2 3 E（経済性、効率性、有効性）等の視点からの着眼点に着目して行った監査結果

【株式会社ディア四日市】

特になし

【商工農水部商業労政課】

意見

① 出資金の確認について【有効性の視点】

商業労政課保管の財務会計書類及び会計管理課に保管されている株式申込受付票等により出資の履歴を確認できるものの、当初から株券不所持としており、これまで残高証明書等の発行もなされていないことから、証による現在高の確認は行われていないことになる。出資団体に対する出資金について、どのような確認方法が適切か検討すること。

② 中心市街地活性化について【有効性の視点】

これまで市と団体はパートナーとしてともに取り組んできた経緯があるが、今後、形態は変わるとしても、引き続きバスタ事業との連携など官民が協力し、中心市街地活性化に努めること。

第5 その他

監査結果は上記第4のとおりであるが、次のとおり申し添える。

【株式会社ディア四日市】

破産手続き開始の申立てが行われたところであり、その手続きが速やかに進められるために、必要な資料提供や説明が十分に行われるよう期待する。